

Facebookでも情報発信中!

<https://www.facebook.com/JAHApag>

facebook



vol 445

Dec 2024



News Letter



JAHA

Contents

巻頭通信	2
VETERINARY STAFF STATION	3~5
CAPP&INSTRUCTOR STATION	6
JAHA STATION	7
News&Information	8

公益社団法人

日本動物病院協会

103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階
TEL.03-6262-5252 FAX.03-6262-5253
website <https://jaha.or.jp> e-mail info@jaha.or.jp

人と動物の間に存在する絆。
その絆を守り、維持するための動物医療。
JAHAは絆のための動物医療を実践することで
社会へ貢献します。

JAHAはマイクロチップの普及を推奨しています。



CAPP委員長 中村 悟

「コロナ禍をのり越え、これからのCAPP活動にご協力ください」

埼玉県七里動物病院に勤務しております中村悟と申します。本年6月よりCAPP委員会委員長を拝命致しました。

この度は、皆様ご承知の通りかと存じますが、もう一度JAHAのCAPP活動につきまして再考して頂ければと存じます。

1986年からスタートした本協会のCAPP活動は、人と動物のふれあい活動(Companion Animal Partnership Program)の略称であり、高齢者施設、医療施設、児童施設、障がい者施設、学校などを訪問し、動物のもつ温もりや優しさにふれていただくボランティア活動として、動物介在活動(AAA)・動物介在療法(AAT)・動物介在教育(AAE)を主に行って参りました。

グローバルでは、人と動物の関係に関する国際組織IAHAIOに1994年ナショナルメンバーとして加盟を承認されており、世界中の人と動物の共生社会がより一層発展するべく、調査研究を推進し科学的にもこれらの活動が認められるよう努力をしております。

スタート以来、JAHAでは今年3月末まで、訪問回数23,179回、参加ボランティア延べ171,656名、参加獣医師延べ30,298名、参加動物延べ犬129,433頭・猫24,323頭、その他の動物7,860頭の活動実績です。

また、近年では主に図書館で活躍する「読書教育支援犬(どくしょきょういくしえんけん)」<https://www.jaha.or.jp/hab/capp/voice/>、司法面接や法廷などで活躍する「付添犬(つきそいけん)」<https://www.jaha.or.jp/hab/capp/tsukisoiken/>などの活動も増え社会的ニーズが高まり、非常に期待されています。聞きなれない活動と思われた皆様は是非JAHAのホームページをご覧ください。

コロナ禍では、オンラインや窓越しで活動するなどアイデアを出し合って継続していたチームもあり感動しました。2022年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行して以降、図書館や小学校、児童施設、小児科病院や障がい者医療施設などから順次活動を開始し、高齢者施設でも

様々なアイデアを出し合い感染症対策を講じながら活動を再開しております。以前の様に活動動物が楽しくふれあいができるか心配しましたが、ブランクの間を感じさせないほどの活動ができており大変安心いたしました。

CAPP委員会の今後の目標の一つとして、若い世代がもっとCAPPに興味を持ち、参加して頂けるように広報や教育にも力を入れたいと考えています。オンラインプラットフォームやSNSなど若者が興味を持つコンテンツの発信、獣医療や社会福祉に関する学校や地域ならびに学術イベントへの参加、セミナーを開催するなど、直接的な教育機会を提供して参りたいと思っています。どうぞ皆様ご指導ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。

また、この場をお借りしまして私からお願いがございます。動物病院で勤務している獣医療者の皆様、日々ご多忙な事と存じますが、JAHAの活動の中には楽しく優しい時間が流れているCAPP活動がございます。この活動は知ってはいるが未だ活動を体験されたことのない皆様には、是非ともお一人でも多くで見学やご参加をいただけましたらと心より願っております。動物病院内の業務だけでなくこのような人と動物の共存した世界があることに感動をしていただけるのではないかと考えています。これから参加される方のための講習会も定期的に対面やオンラインで実施いたします。また、全国にはチームリーダーがいらっしゃいますので、是非ご相談して頂きご見学やご参加も可能です。JAHAの理念に賛同し、共に歩んでいただけることを心から願っております。CAPPの活動にご注目いただき、私たちの取り組みに参加していただければ幸いです。

最後になりますが、人と動物がより良い未来を築くために、これからも皆様と共に努力を続けていきたいと思えます。どうぞ今後とも、JAHAのCAPPの活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

— 今月の表紙 —

「びよんちゃんがいるから
毎日楽しい、おはようの
ご挨拶中」

写真提供：砂田貞枝様
(赤坂動物病院 柴内晶子院長友人)



ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています

「人と動物の絆」をテーマに、ニュースレターの表紙に掲載するお写真を募集しています。お寄せいただける方はお写真と一緒に、お写真の提供者名(掲載するお名前)、お写真のタイトルをinfo@jaha.or.jpまでお送りください。どうぞよろしくお願いたします。

※肖像権、著作権、動物の福祉に配慮した写真をお願いします。



去る9月26日、こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座実践コース最終回にて、22名の方が修了されました。第17期生の皆さま修了おめでとうございます！



こいぬこねこ教育アドバイザー実践コースに参加して

ロイヤルカナンジャパン合同会社 井上 舞

企業勤務の私がなぜこの講座に参加したのかと言えば、運営に携わっているねこ医学会(JSFM)にてこねこフレンドリープログラムという、子猫のときから病院に慣れてもらう、という趣旨のプログラムを実施することになったので、すでに動物病院で行われている子猫塾が、どのようなことをされているのか学ぼう！と思ったからです。臨床以外の私を快く受け入れてくださって、感謝しています！ JSFMでは猫にやさしい動物病院の認証であるキャットフレンドリークリニック(CFC)の取得の支援を行っていましたが、動物病院の受け入れ態勢が整ったとしても、肝心の猫自身の病院嫌いは改善されず、思うように猫の来院率自体は上昇していません。一頭でも多くの猫の、動物病院に来るストレスが少しでも減らせたら、健康で長生きできる猫が増えるに違いありません。実践コースでは同じ志を持つ動物病院の皆さまと出会えることも、楽しみの一つでした。実際に実践コースに参加してみると・・・期待はいい意味で大きく裏切られました。村田香織先生の受講生と動物たちに対する深い愛情をじかに感じながら、スタッフの皆さまの笑顔に癒されながら、関さんのトーク力に笑わせてもらいながら、濃密な2日間×3か月を過ごすことができました。随所にちりばめられた工夫で実際に自分がパピーになったかのように導かれていました。作りこまれた実習だなあ、と普段セミナーやイベントを企画する側の私もすっかり魅了されています。子犬や子猫が人と暮らす初めの数か月間は、双方にとって何より大事な期間のはずです。この濃密な子育て期を、動物病院を支える立場でどのようにサポートしていくか、今後のプランを妄想してワクワクしています。ぜひ17期同期の皆さんにもご意見をいただきながら幸せな子猫(子犬も、いつか!)を増やしていきたいと思っています！もみの木動物病院の皆さま、同期の皆さま、本当にありがとうございました、これからもよろしくをお願いします。



なごみ豆知識!!



http://101dog.co.jp

— 2025年に予定される育児・介護休業法の改正点(社会保険労務士法人 和) —

年末が近づくなかで、慌しい日々が続くかと思えます。2024年は、育児と介護に関わる「育児・介護休業法」の改正が行われ、2025(令和7)年にその施行が予定されています。

今号の「なごみ豆知識」では、「育児・介護休業法」に関する改正点から、(1)「柔軟な働き方を実現するための措置等の義務化」、(2)「子の看護休暇の見直し」、(3)「介護離職防止のための個別の周知・意向確認、雇用環境整備等の措置の義務化」についてご案内します。

(1)「柔軟な働き方を実現するための措置等の義務化」(2025年10月1日から)

現在の「育児・介護休業法」では、子どもが3歳未満の間は、「育児短時間勤務制度」を利用することができますが、子どもが3歳以上になった後は利用できませんでした。

今回の改正では、3歳以上・小学生就学前の子を養育するスタッフに対しても下記の柔軟な働き方を実現するための措置を講ずること、その措置についてのスタッフに対する個別周知と意向確認が義務化されます。柔軟な働き方を実現するために事業主が講じる措置として以下の5つが挙げられています。

- ①始業時間等の変更
- ②テレワーク等(月10日)
- ③保育施設(企業内保育所・託児所など)の設置運営等
- ④新たな休暇の付与(年10日)

⑤短時間勤務制度

※①から④は、フルタイムでの勤務を継続しつつ、柔軟な働き方ができるようにするための措置です。

事業主は、上記5つのうち2つ以上を選択して措置を講じる必要があります。なお、どの制度を選択するかは、各事業主の判断になり、スタッフが選ぶものではありません。

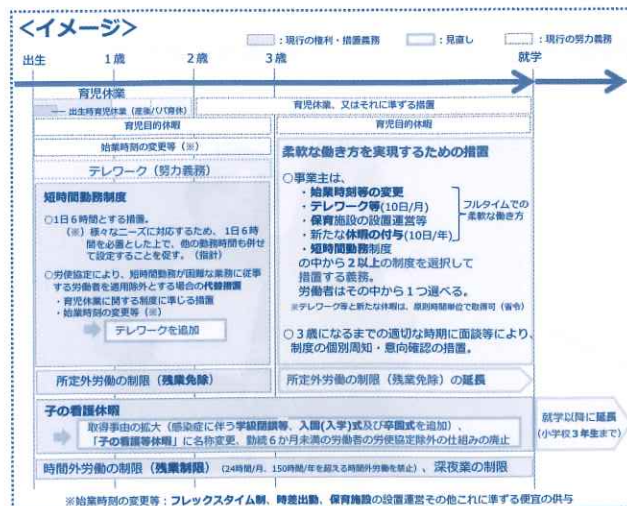
また、講じた措置について、スタッフに対して個別周知と意向確認を行うことも併せて義務化されます。なお、個別周知と意向確認の方法は、今後省令により面談や書面交付等とされる予定です。

(2)「子の看護休暇」の見直し(2025年4月1日から)

現在の「子の看護休暇」は、「小学校入学前」の子どもの病気・けが、予防接種・健康診断の際に利用できる制度です。改正後は、利用目的が「感染症に伴う学級閉鎖」や「入園(入学)式、卒園式」にも対象になり、対象になる子の範囲も「小学校3年生を修了」するまでの間に拡大されます。また、名称は子の看護「等」休暇に変わります。

さらにこれまででは、事業主とスタッフの間で結ぶ労務協定により、①入職後6カ月未満、②週の所定労働日数が2日以下のスタッフは、子の看護休暇の対象から外すことも出来ましたが、今回の改正では、①が廃止され、入職後6カ月に満たないスタッフにも、子の看護等休暇を認める必要があります。

これら以外にも、育児に関する改正点があり、イメージ図は下のようになります。枠で囲んでいる箇所が今回の改正内容です。



出典元:厚生労働省 リーフレット「育児・介護休業法、次世代育成支援対策推進法 改正のポイントのご案内」

(3)「介護離職防止のための個別の周知・意向確認、雇用環境整備等の措置の義務化」(2025年4月1日から)

介護に関する改正では、介護離職防止のために以下の措置を講じることが義務化されます。

- 仕事と介護の両立支援制度を利用しやすい雇用環境の整備(研修や相談窓口の設置)
- 介護に直面した旨の申出をしたスタッフに対して、仕事と介護の両立支援制度等に関する情報の個別の周知・意向確認
- 介護の直面する前の早い段階での仕事と介護の両立支援制度等に関する情報提供

仕事と介護との両立支援制度として、「介護休業」や「介護休暇」などが挙げられますが、今回の改正は、これらの制度を活用できないことによる介護離職を防止する目的で実施されます。

併せて、介護の申出をしたスタッフだけでなく、早い段階(40歳等)にあるスタッフに対しても介護と仕事を両立するための制度等について情報提供をすることが義務化されます。

一般的に介護は育児と比べて、制度の利用割合が少ないですが、今後は介護との両立支援についての制度整備・スタッフへの周知も必須になってきます。

ここまで、2025年に予定されている「育児・介護休業法」の改正点から代表的なものをご紹介しました。近年育児と介護については、法改正が進み、事業主側で必要となる対応が増えています。法改正によって義務化される内容を把握したうえで、就業規則や制度の見直しやスタッフへの周知を進める必要があります。

ご不明点については、お気軽に社会保険労務士までご相談ください。

獣医師免許をお持ちの皆様へ 令和6年12月31日現在の状況を、お住まいの都道府県に届け出てください。

◎獣医師には、**獣医師法第22条に基づく2年ごとの届出が義務付けられています。**

◎**令和6年度は届出が必要です。**

◎届出様式に必要な事項を記入の上、**令和7年1月1日から1月31日までに、お住まいの都道府県に提出してください。**

※届出様式や記載方法は農林水産省HP(下記URL又は右上のQRコード)に掲載しています。
<https://www.maff.go.jp/syouan/tikusui/zyui/22.html> オンラインで届出できます!詳しくはこちら



獣医師 届出

検索

- ◆期日までに届出をしなかった場合、免許の取消し又は業務停止を命じられることがあります。
- ◆本届出は獣医師の分布、就業状況等を的確に把握したり、獣医療に関する通知等の情報配信等のために利用されます。

※結婚等により、本籍地の都道府県名、氏名や性別が変更された場合は、変更があった日から30日以内に、登録事項の変更申請が別途必要です。

詳細は、農林水産省HP(下記URL等)に掲載しています。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/menkyo.html#b>

農林水産省 消費・安全局
畜産安全管理課獣医事監視班



JAHA 動画配信サービス

豊富なコンテンツが200時間以上!

■新着動画

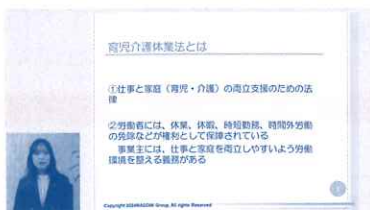
～過去の国際セミナー20タイトル以上が配信中～ 動画配信専用コンテンツもあります

経営情報(労務)

第116回

「育児介護休業法の改正について」

講師：社会保険労務士法人 和(なごみ)
社会保険労務士 二神 桃子 先生



国際セミナー

第172回

国際セミナー「内分科学」

2023年3月に対面セミナーとして開催しました、「糖尿病・副腎疾患・ミネラル異常の論理的アプローチと管理」を公開中です。
講師：Dr. David Church (The Royal Veterinary College)



動画配信は、正会員病院の限定サービスです。
オンラインで実施したセミナーなど、期間限定での見逃し配信など、
セミナー開催が厳しい状況が続く今、
皆様への学習機会提供の一助となれば幸いです。

動画配信サービスへのログイン・申込はこちら(正会員病院の限定サービスです)
※アカウントをお持ちでない方は、
以下のリンクより「サービスのご案内」をご確認ください。
<https://doupa.net/jaha/login/login.php?c=OTU=>



2024年 10月CAPP訪問活動実績

老人福祉施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物看護師	ボランティア参加	見学	犬	猫	他
青森県	鶴ヶ丘苑【村田道子・保木明彦(V)】	31	1	1	5	6	3		
栃木県	マイホームきよはら【矢部真人(V)】	27	3		11		11		
千葉県	ときわの杜【佐々木拓也(V)】	7	2		8		7		
東京都	トラストガーデン杉並宮前【滝村昌世】	15			8		6		
	サン・サン赤坂【徳永治子・セマヤ雅子】	4			10	1	7		
	いせいきプラザ一番町【飯田良枝・舘見里喜久恵・柴内晶子(V)】	17	1	1	15		11	1	
	麻布慶福苑【徳永治子・齋藤麻実子(V)】	10			15		12		
	デイサービスD-Festa立川【中島千恵・熊本さかえ(V)】	1		1	2		3		
	ディーフェスタリリーフ国立府中【中島千恵(VN)】	13		1	3		3		1
	ピピフローラ【清水弥生・竹中晶子(VN)・海老澤崇史(V)】	10		1	9		6		
	久我山園【金子いづみ・柴内裕子(V)】	15			5		4		
	デイホーム等々力【中田泉子・佐藤雄一(V)】	2			11	2	4		
	ツツイ・サンシャイン成城【石森菊江】	9			7		6		
	やはら翔裕園【永島恵子・石川幸子(V)】	21			7		5		
	くめがわ翔裕園【永島恵子・島中道昭(V)】	22			9		5		1
	芦花ホーム【金澤順子】	23			7		7		
	神奈川県	旭ホーム【水谷渉(V)】	6	3	1	2		3	1
横浜さくら苑【佐藤恭子】		13	1		6		5	1	
ラポール藤沢【水谷渉(V)】		17	2	2	1		1	1	3
ふれあいの森【水谷渉(V)】		24	2	2	2		1		
ひとりざわ【三宮裕子・澤柳千(V)】		8			6		3		
		24			7		4		
	ラポール三ツ沢【渡部知佳子・水谷渉(V)】	26			2		2		
愛知県	岡崎市民病院【太田恵里・大竹克己(V)】	23			9		6		
京都府	アザレア舞鶴【安積初江(V)】	28	1		7	1	5		
	Case京都西野山【新山則子(V)】	30	1	2	3	1	6		
大阪府	翼さくら苑【田中玲子・本田善久(V)】	20	2		13	11	12		
香川県	青の山荘【大林杏子(V)】	16	3		6	7			
福岡県	若杉の里【徳永可和子】	23			3		3		
	宗像アコール【吉田真理子・永田朋子(V)】	20	2		3		5		
合計		31回	25	14	211	25	170	5	6

障害者施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物看護師	ボランティア参加	見学	犬	猫	他
宮城県	第二ひたかみ園【阿部俊範(V)】	10	1	3	2		4		
東京都	島田療育センター【湯本悦子・石川幸子(V)】	31			11		8		
神奈川県	ちがさきの木魂【水谷渉(V)】	10	2	2	2	1	1	2	3
富山県	COCORO【吉田 理栄子(V)】	01	1		4	1	5		
福井県	金津サンホーム【大門由美子(V)】	23	1		3		3		
大阪府	とくふうホーム【田中玲子・土居奈美(VN)】	21			4		3		
合計		6回	5	5	26	2	24	2	3

児童関係施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物看護師	ボランティア参加	見学	犬	猫	他
千葉県	おたかの森センターこども図書館【市川美雪・黒木慎介(V)】	13	2	1	8		4		
	南流山わんわん教室【市川美雪・黒木慎介(V)】	26	1	1	7		2		
	千葉市立有吉小学校【山ノ上由起子・乙守智奈美(V)】	31	2		11		7		
東京都	品川区立大崎図書館分館【尾崎元子・千葉陽子(V)】	12	1	1	7	3	2		
兵庫県	こうべ動物共生センター【熊井恵子・村田香織(V)】	14	1	1	1	2	4		
		17		1	2		3		
宮崎県	宮崎市立宮崎南小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	3			3		3		
	宮崎市立西池小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	7			3		7		
合計		8回	7	5	42	5	32	0	0

医療施設等

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物看護師	ボランティア参加	見学	犬	猫	他
北海道	吉田病院【保久留美子・本田英隆(V)】	10	1	2	2		2		
千葉県	千葉県こども病院【佐々木拓也(V)】	16	1		3		4		
	千葉大学医学部附属病院【佐々木拓也(V)】	23	1		2		3		
東京都	東京衛生アドバンス病院【竹中晶子(VN)】	4		1	1		2		
		11		1	2		2	1	
		18		1	2		2	1	
		25		1	2		2	1	
		信愛病院AAA【後藤三枝子・柴内裕子(V)】	8			9		6	
	長谷川病院【浅原久子】	24			6		6		
神奈川県	横浜市立大学附属病院【三宮裕子・澤柳千(V)】	16			4		3		
静岡県	天竜病院【大井由紀子・館澤仁(V)】	7			3		3		
愛知県	愛知県医療教育総合センター【梅村由佳理・夏目里枝子(V)】	10			5		3		
大阪府	新阿武山病院【湯浅 明奈(V)】	25	1	2	4		5		
兵庫県	神戸アドベンチスト病院ホスピス(P)【石井孝子】	9			1		1		
		23			1		1		
	六甲病院【熊井恵子・村田香織(V)】	9	2		4		6		
合計		16回	6	8	51	0	51	3	0

	活動回数	獣医師	動物看護師	ボランティア参加	見学	犬	猫	他
10月合計	61回	43	32	330	32	277	10	9

※(P)はパートナーズの活動、(V)は担当獣医師、(VN)はJAHA1級動物看護師

10月の寄付と募金のご報告

設置募金箱から		
所在地	動物病院名	募金額
鳥取県鳥取市	ダクタリ動物病院 鳥取病院	69,335
愛知県名古屋	動物医療センターもりやま犬と猫の病院	3,460
千葉県習志野市	ならしの動物医療センター	22,020

企業・団体からの寄付	
公益社団法人 アニマルドネーション	45,202

ポイント募金		
Yahooネット募金	10月分	34,744
SOFT BANKつながる募金	10月分	4,092

個人・動物病院からの寄付	
匿名	7,700
ダクタリ動物病院 鳥取病院	27,000

JAHA では CAPP 事業以外へも寄付を受け付けております。
 公益事業全体、公益事業 1、公益事業 2 へ等、寄付先もお選びいただく事が可能ですので、ぜひ事務局までご相談下さい。
 ※CAPP 募金箱からの募金については、CAPP 活動専用となるため、他の事業への指定は出来ません。



新入会 ~正会員 紹介~

草津犬猫病院

《入会》2024年10月30日
 《入会区分》動物病院会員A
 《住所》滋賀県草津市野村3-18-11
 TEL:077-564-1232
 《正会員》橋本 夏彦

ペテモどうぶつ医療センター名古屋

《入会》2024年10月21日
 《入会区分》動物病院会員A
 《住所》愛知県名古屋市西区玉池町3番地
 TEL:052-509-5020
 《正会員》河村 竜太

みやむら動物病院

《入会》2024年10月18日
 《入会区分》動物病院会員B
 《住所》東京都江戸川区中央2-5-15
 TEL:03-3651-2211
 《正会員》宮村 卓馬



会議録 第5回 年次大会2024 実行委員会 会議録

日時:令和6年10月4日(金) 13:00~15:00
 開催方法:Zoom オンラインミーティング
 出席者(敬称略):
 実行委員長: 勝間健次
 実行委員: 浅井亮太、家入秀明、大石太郎、高橋秀児、寺島美穂、中村喜雄、長谷住明、水越美奈、村田元
 担当理事: 宗像俊太郎、市川陽一朗、水野浩茂、横山篤司
 欠席者: 澤村昌樹、中村悟、増山浩一、松尾英治、宮崎務、森淳和

報告事項:
 ○年次大会 参加登録状況の報告
 検討・確認・承認 事項:
 1. 協賛展示企業からのキャンセルの申し出への対応について
 2. 各プログラム 司会担当者の確認
 3. 協賛展示ブース・スタンプラリーに関する検討
 4. 動物看護技術コンテストへのエントリー数の報告
 5. その他、ご意見をいただいたこと

会議録 令和6年 第1回JAHA認定インストラクターミーティング 会議録

日時:令和6年11月3日(日) 16:15~17:00
 会場:AP八重洲 7階S room
 形式:対面
 出席者(敬称略):
 22名
 養成講座委員長:水越美奈
 JAHA認定家庭犬しつけインストラクター:
 浅野良恵、阿部有希子、阿部容子、荒井隆嘉、石田千晴、浦野裕美、越久田活子、北村理恵子、小林さとこ、新保清美、常住すみれ、中島直彦、南雲晴城、新山則子、羽金道代、松ヶ下圭美、村田香織、森愛史、森山知加子、守

谷友来、山浦来未
 事務局:黒田良子
 内容:
 1. 委員長挨拶
 2. 水越美奈先生ミニレクチャー
 「フェロモンとは?フェロモンを理解して利用しよう」
 3. セバジャパン株式会社 様
 「ADAPTIL 犬用フェロモン製品のご紹介」
 4. 新規認定インストラクターご挨拶
 5. 意見交換

《事務局日誌 / 10月》

1日	火	年次大会臨時実行委員会
4日	金	第5回年次大会実行委員会
5日	土	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義1(パート2)水越美奈先生
11日	金	執行役員とのミーティング
13~14日	日~月	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コースハンドリング補講 矢崎潤先生、山崎千佳先生、羽金道代先生
14日	月	VNセミナー樋口先生「歯科学」オンラインセミナー
17日	木	シニアケアフォローアップ 講師:関瀬利先生 担当:伊藤
21~22日	月~火	こいぬこねこ教育アドバイザー認定試験
23日	水	ボランティア講習会(対面)
26日	土	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義3(パート1)村田香織先生・山崎千佳先生
31日	木	執行役員会

セミナー予定

●こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座ベーシックコースオンライン

講師：村田香織先生
 日程：全7回（第1回～第6回は録画配信、第7回のみZoomによるリアルタイム配信（10日間の見逃し配信あり））
 ③12月1日～7日 子犬の困った行動（甘咬み・トイレ・いたずらなど）
 ④1月1日～7日 パピークラス
 ⑤2月1日～7日 子猫の選び方・ニーズ、子猫の困った行動（じゃれ咬み・トイレ・爪とぎなど）
 ⑥3月1日～7日 こねこ塾
 ⑦3月12日（水）13-15時リアルタイム配信（見逃し配信あり）

●動物病院スタッフのためのシニアケア講座2024・オンライン

日程と講師：
 第2回：「高齢動物の疾患に関する知識1」
 12月25日（水）14:00～17:00
 講師：皆上 大吾 先生
 第3回：「高齢動物の疾患に関する知識2」
 1月22日（水）14:00～16:30
 講師：宮田 拓馬 先生
 第4回：「高齢動物の栄養学・栄養管理」
 2月19日（水）14:00～17:00
 講師：徳本 一義 先生
 第5回：「高齢動物のケア、犬猫とご家族のQOLを高める工夫」
 3月19日（水）14:00～17:00
 講師：小野沢栄里先生、小松原大介先生、島田旭緒 先生

●オンライン国際セミナー「Dr. Ameetから内視鏡外科手術を学ぶ～腹腔鏡手術と胸腔鏡手術について～」

講師：Dr. Ameet Singh (University of Guelph)
 形式：収録配信、ライブ配信によるQ&A
 日程：
 講義配信：12月12日（木）～1月5日（日）
 ライブQ&A：1月8日（水）21:00～22:00

●「様々なグリーフケアを話し合おう！」（名古屋・対面セミナー）

講師：阿部美奈子先生
 日程：
 2025年1月13日（月・祝）10:00～16:00
 会場：名古屋ECO動物海洋専門学校（予定）
 主な対象者：動物病院スタッフ（獣医師、愛玩動物看護師、ケアスタッフ、トリマー 他）

●オンライン国際セミナー「腫瘍学」

講師：岩木 芳美先生 (University of Missouri)
 形式：収録配信、ライブ配信によるQ&A
 日程：
 講義配信：2025年1月20日（月）～2月16日（日）
 ライブQ&A：2月21日（金）9:00～10:00

●第177回国際セミナー「外科手術の基本」

講師：Dr. Heidi Phillips (University of Illinois)
 日程：
 東京会場：2025年3月8日（土）～10日（月）
 大阪会場：2025年3月12日（水）～14日（金）

後援催事等

●市民講座

「ペットロス、あなたはどうか考えますか？」
 日時：12月8日（日）13:00～16:00
 会場：栃木県動物愛護指導センター レクチャールーム
 参加対象者：一般県民（無料）
 講師：日本獣医生命科学大学教授 濱野 佐代子先生（獣医師・心理学博士）
 主催：レインボークラブ（ボランティア団体）

●DVMs メディカルフェスティバル2024

開催日：12月15日～
 会場：オンライン（オンデマンド形式）
 主催：(株)DVMs
 対象：獣医師、看護スタッフ、事務・コンシェルジュ、学生
 対象：動物介在活動関係者およびその活動に興味をもつ一般の方

参加費：無料
 開催趣旨・目的：救急診療・二次診療での知見を獣医療者に還元する

●2024年度第109回日本獣医麻酔外科学会学術集会

（同時開催：第25回日本獣医内視鏡外科学会、共同開催：第12回アジア獣医外科学会）
 日程：2024年12月20日（金）～12月22日（日）（見逃し配信：開催後2週間を予定）
 会場：札幌コンベンションセンター
 形式：ハイブリッド開催（対面およびオンデマンド配信）
 企画：企画の一つとして、愛玩動物看護師向けの講演を計画し、「愛玩動物看護師のキャリア形成・働き方について考える」というテーマで北海道内外の愛玩動物看護師に発表いただく

●「動物介在プログラム 基礎講習」(オンライン)

開催日：2025年2月1日（土）2日（日）10～16時の全2日間
 形態：オンライン会議（ZOOM）
 主催：一般社団法人 優良家庭犬普及協会
 人数：約20名
 対象：動物介在活動関係者およびその活動に興味をもつ一般の方
 目的：動物介在活動（AAA）・動物介在療法（AAT）の定義から、ボランティアとしての責任、活動プログラム、施設評価、動物適正評価、リスク管理等、アニマルセラピーを分かりやすく講義し、活動に興味のある方への教育を提供します。

会員数（令和6年10月31日現在）
 合計8,512名

動物病院会員 A	412病院	勤務獣医師会員	1,773名
動物病院会員 B	248病院	勤務動物看護職員	4,852名
個人正会員	5名	学生会員	26名
名誉会員	2名	サポート会員	702名
個人獣医師会員	99名	施設賛助会員	165施設
シニア会員	1名	法人賛助会員	79社
学術会員	148名		

JAHA年次大会2024

『Qne Well-being～人と動物と自然にやさしい未来を目差して～』

JAHA年次大会大盛況のうちに終了！

11月2日と3日の2日間にわたり開催されたJAHA年次大会が、無事に大盛況のうちに終了しました。多くの皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。今年は会員外の方々にも多数ご参加いただき、業界全体の関心の高さを改めて感じることができました。

また、今回の大会では新たな試みとして「スタンブラー」を実施、参加者の皆様から大変ご好評をいただきました。スタンブラーにご協力いただき、素晴らしい商品をご提供くださった企業様にも、改めて感謝の意を表します。皆様のご協力によって、参加者の楽しみとともに大会の盛り上がりが一層増しました。

参加人数については、以下の通りとなります：述べ696名

獣医師	146名	学生（獣医学生・看護学科）	28名	理事・実行委員	22名	演者	45名
ホスピタルスタッフ	255名	関係団体・招待	10名	協賛・展示企業	110名	プレス	5名
市民	75名						

来年もまた、皆様にお会いできることを心より楽しみにしております。引き続き、JAHAの活動へのご支援をよろしくお願いいたします。ニュースレター1月号にてJAHA年次大会2024の詳細をご報告させていただきます。

